

エスト・ウェストオークション



● 絵画作品に高額落札が続いたクライマックス

エスト・ウェストオークションズの今回のスプリングセール東京は、オークション会場として、東京・六本木ヒルズ森タワーの51階にある六本木ヒルズクラブで行われた。ドレスコードも決められ、大人の集まるオークションの雰囲気を感じさせる会場設定を行った。テーブル席が用意され、そこで飲み物と軽食を楽しみながら、オークションに参加できるという会場は、テーブル席から人が埋まっていったが、落札に集中したいというコレクター椅子席のオークションニアに近い席に陣取りビットをしていた。そして今回は女性のハンマーでスタートした。

そして今回のスプリングセール東京の注目点は、ロットナンバー 508 の藤田嗣治が1952年に制作した「少年と少女」（油彩・キャンバス、35.0 × 27.0cm）に集まっていたのは言うまでもない。かつてニューヨークのクリスティーズに出品されたことのある作品で藤田の代表的な作品。今回のエスティメイトは2000万～3000万円とされ、落札価格は2500万円となった。この作品の前には草間彌生の「星雲」（アクリル・キャンバス）がエスティメイトの600万円を超えた価格650万円で落札され、そしてビュッフェの「ベゴニア」（油彩・キキャンパス）がエスティメイトの下限と同じ500万円で落札された。今回のベスト3の作品が草間

彌生、ビュッフェそして藤田嗣治の順にセリにかけられた。ここが、今回のオークションのクライマックスとなり、高額落札が続いた。

630点という多くの出品点数で行われたオークションは、絵画、彫刻、版画、アンティークガラス、ジュエリー、家具など幅広い作品が揃えられた。高額落札は、絵画に続いて北大路魯山人の「をりへ手桶」や、刀剣の備前国忠吉からエミール・ガレの作品まで、それぞれのジャンルに渡り、そのすべてにエスト・ウェストオークションズの出品作品の質の高さを思わせる内容になった。落札点数は521点で落札率は約82パーセントとまざますの結果を出していた。

● 落札上位

藤田嗣治 少年と少女	2500万円
草間彌生 星雲	650万円
B. ビュッフェ ベゴニア	500万円
北大路魯山人 をりへ手桶	290万円
備前国忠吉 短刀（拵え付）	280万円
草間彌生 熱帯魚	260万円
吉野山時繪御文台・硯箱 全2点	200万円
H. ウェイジェル 大理石彫刻 天使フロアスタンド（一対）	180万円
ヴィエナススタイル 女神と天使蓋付飾り壺	180万円
E. ガレ 海底文花瓶	180万円